

HELIX チートシート

SAVE

2回押ししてプリセットに加えた変更内容を保存します。



ここを押すと、さらに高度な機能や設定が記載されたメニューを開くことができます。



アンプ+キャブ、アンプまたはプリアンプのトーンスタックを見るときに、ここを押します。

ジョイスティック



ジョイスティックを使用してブロックを選択します。

ACTIONを押し、ジョイスティックでブロックを移動させます。



回してブロックのモデルを変更します。



押すと、モデルリストが開きます。

BYPASS

ここを押して選択したブロックのオンとオフを切り替えます。

長押ししてグローバルEQのオンとオフを切り替えます。

ACTION

選択したブロックまたはページのアクションパネルを開くときにここを押します。

◀PAGE▶

選択したアイテムの更に多くのパラメーターを見るときにここを押します。

VOLUME

6.3mm、XLR、DIGITALおよびUSB 1/2出力からの音量レベルをこのノブでコントロールします。

PHONES

ヘッドホン出力からの音量を調節するときに回します。

PRESET

ここを回してプリセットを選択します。

ここを押してセットリストを開きます。

🏠 分からなくなりましたか?

ここを押すと、ホーム画面に戻ります。

ノブ1~6

回してパラメーターを調節します。

機能をオンにするときに押します。値をリセットするときに押します。

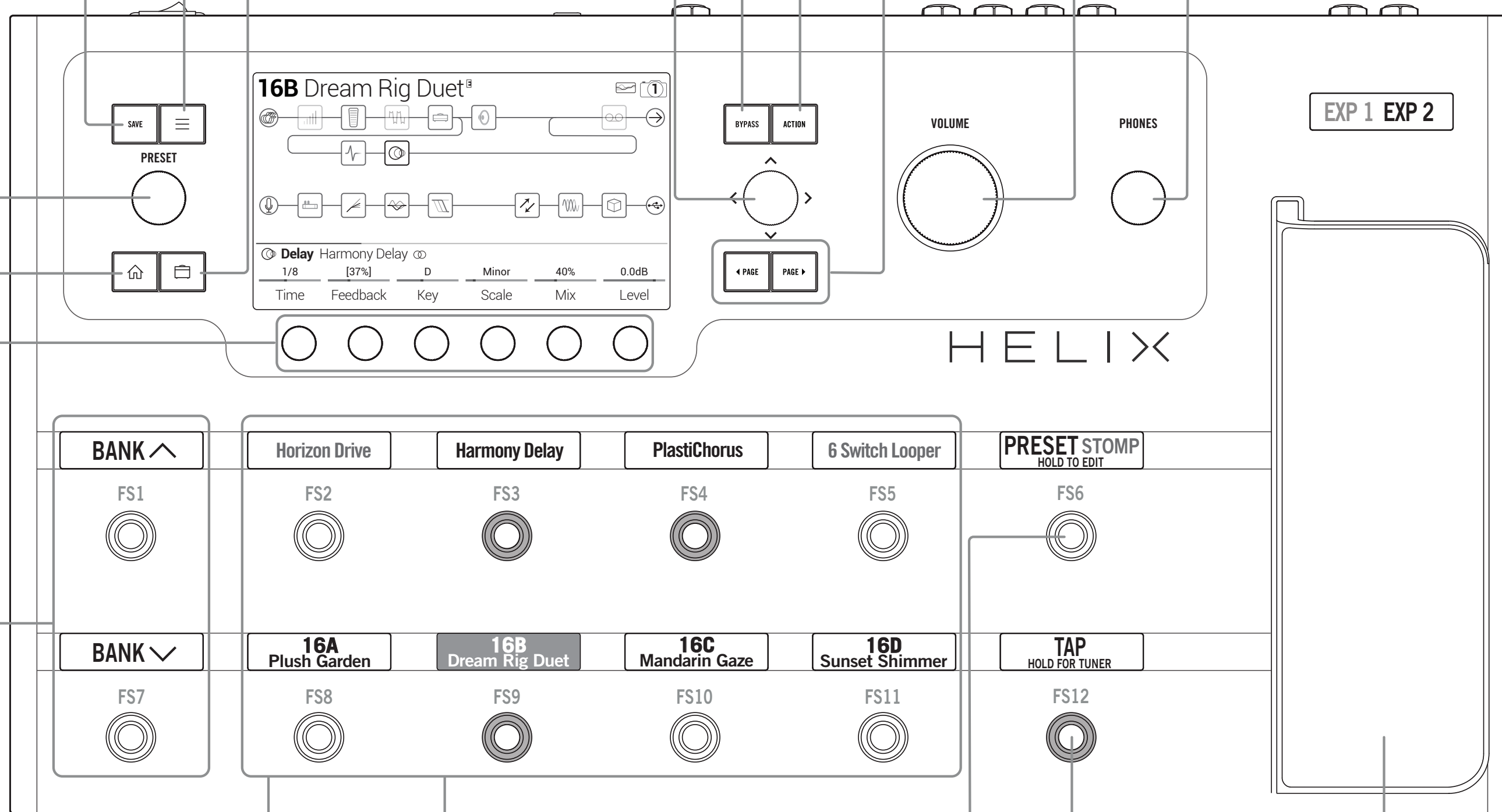
Hz、msまたは音価を切り替えるときに押します。

長押しすると、そのパラメーターのController Assignページが開きます。

アップ/ダウン

FS1/FS7を踏んで、プリセットの次/前のバンクを選択します。

FS1とFS7の両方を長押ししてPreset ^/Preset vまたはSnapshot ^/Snapshot vに変更します。



👣 Presetフットスイッチ・モード



フットスイッチを踏んで、プリセットを選択します。再度踏むと、プリセットを再び読み込みます。

👣 Stompフットスイッチ・モード



フットスイッチを踏んでブロックのオン/オフを切り替えます。フットスイッチをタッチして、割り当てたブロックやアイテムを選択します。繰り返しタッチして割り当てた複数のアイテムを順々に表示させます。タッチし続けて、選択したブロックにスイッチを割り当てます。

👣 MODE



FS6を踏んでPresetとStompフットスイッチ・モードを切り替えます。(エディットしたいブロックが表示されている)フットスイッチを押してペダル・エディット・モードに入ります。

👣 TAP/TUNER



FS12を繰り返し踏んでテンポを設定します。長押ししてチューナーを開きます。タッチしてテンポ・パネルを開きます。

👣 エクスプレッション・ペダル1(と2)

ペダルを動かして、ボリューム、ワウ、またはアンプとエフェクトのパラメーターの組み合わせをコントロールします。トウ・スイッチを有効化させてEXP 1とEXP 2を切り替えます。

入力ブロックを選択し、ジョイスティックを回して入力ソースを設定します。各パスに1つまたは2つの入力ブロックを配置することができます。

入力ブロックは信号が存在する場合は緑色、クリッピングの場合は赤色に変わります。

ジョイスティックを使用する、またはスイッチの上部にタッチして(白く縁取りされている)ブロックを選択します。

Splitブロックを下へ移動させて入力ブロックを複製します。

プリセットを編集すると、「E」が表示されます。

Mergeブロックを下へ移動させて出力ブロックを複製します。

BYPASSを押してブロックのオン/オフを切り替えます(バイパスさせたブロックの表示は暗くなります)。

BYPASSを長押ししてグローバルEQのオン(アイコンが表示されます)またはオフに切り替えます。

PRESETを押してからノブ5(Select Snapshot)を回して8個のスナップショットの中から1つを選びます。

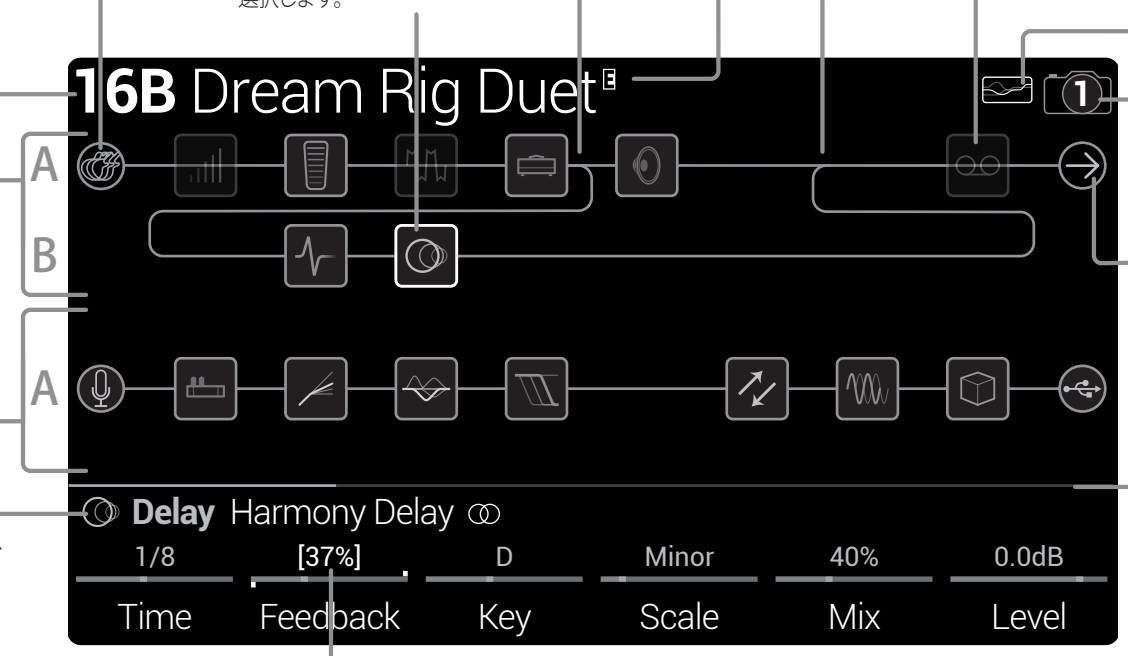
出力ブロックを選択し、ジョイスティックを回して信号をバックパネルの端子、パス2または、USB経由でコンピュータヘルートさせます。各パスに1つまたは2つの出力ブロックを配置することができます。

◀PAGE▶を押すと、選択したブロックで編集可能な更に多くのパラメーターを見ることができます。このスクロールバーでパラメーターのページを表示します。このブロックには、この他に3ページに渡るパラメーターがあります。

PRESETノブを回してプリセットを選択します。

Helix®の2つの信号パスは、それぞれをパラレル(AとB)またはシリアル(Aのみ)のどちらにも設定可能です。

選択したブロックのモデル・カテゴリおよびタイプを表示し、∞はステレオ・モデルを、∪はレガシー・モデルを示します。ジョイスティックを回してモデルを選択します。ジョイスティックを押すとモデルリストが開きます。



コントローラーが割り当てられている場合は、値が括弧書きで白く表示されます。スライダーの上と下の白いドットは、MinとMaxの範囲を示します。

ノブ1~6を回して選択したブロックのパラメーターを調節します。ノブを押してレベルをユニティ(0.0dB)へ、パンをセンターへ戻します。

Ext Amp Out 1/2

一般的なアンプに接続し、チャンネルの切り替えまたはリバーブのオン・オフを操作します。デュアル・オペレーション用にはTRSケーブルを使用してください(1=ティップ、2=リング)。

Guitar In

メインで使うギターまたはベースをここに接続します。このインプットにはインピーダンスのセレクトおよび切り替え可能なパッドが付いています。

AUX In

ここにアクティブ・ピックアップ搭載のギターやベースを接続します。

Sends>Returns

外部ストンプボックスをトーンへ挿入するためのモノラルまたはステレオのエフェクト・ループとして、またはキーボード、ドラムマシン、ミキサー、その他のモデラーなどを接続するための追加の入力および出力として使用することができます。

6.3mm Outs

6.3mmケーブルを使用してギターアンプ、ペダル、パワードスピーカーまたはその他の再生システムへ接続します。モノラル信号の場合は6.3mm左側の出力のみに接続します。

Variaxインプット

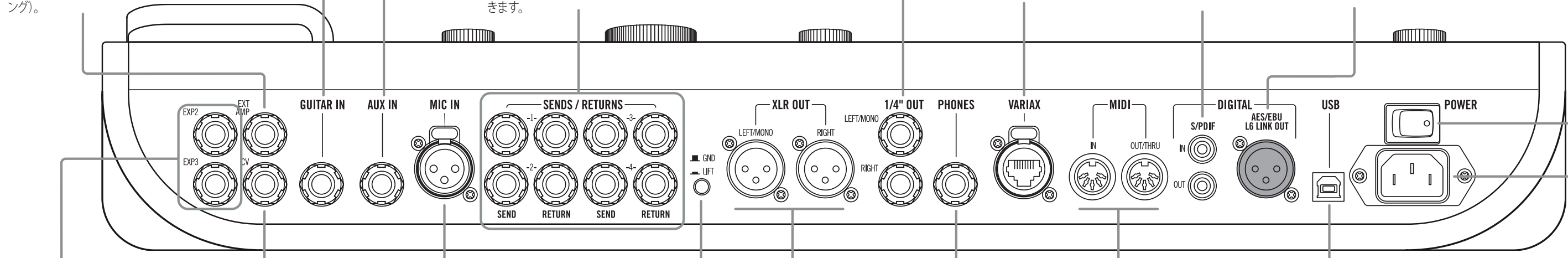
このインプットは、HelixとLine 6® Variax®ギターとの間に電源、デジタル・オーディオ、エフェクト・コントロールを供給し、トーンを瞬時に呼び出すことができます。

S/PDIF In/Out

スタジオ機器とのデジタル接続を行なう際は、ここに75Ω同軸(RCA)ケーブルを接続します。

AES/EBU | L6 LINK Out

スタジオ機器とのデジタル接続を行なう際は、ここに110Ω AES/EBU (XLR)ケーブルを接続します。L6 LINK™は、ケーブル1本でHelixとLine 6 Powercab®アクティブなギター・スピーカー・システムおよび/またはDTシリーズ・アンプ間に信頼性の高い接続を可能にします。



電源スイッチ

パワーの源です!

AC In

アース付きAC電源コンセントに接続します。

EXP 2/3

追加で2つのエクスプレッションペダルをここに接続します。

CV/Expression Out

ストンプボックスのエクスプレッションペダル入力、またはピンテッジペダルやシンセのCV(コントロール・ボルトージ)入力に接続します。

MIC In

ボカルのエフェクト処理を行う場合、またはUSB経由でコンピュータに録音する場合、ここにマイクを接続します。スタジオ・コンデンサー・マイクに切り替え可能な48Vファンタム電源を提供します。

グラウンド・リフト・スイッチ

ハム音やノイズが発生する場合は、このボタンを押して装置の間のグラウンド・ループを排除してください。

XLR Outs

ライブ演奏の際は、バランスXLRケーブルを使用してスタジオモニター、ハウスミキサー、またはPAに接続し、モノラル信号の場合は左側の出力のみに接続します。

フォン・アウト

ここにヘッドフォンを接続し、トップパネルのPHONESノブを回して音量を調節します。

MIDI In、Out/Thru

MIDI装置に接続してプログラムチェンジ、コントローラーの連続制御、または他のMIDIメッセージの送受信を行います。

USB

Helixは、コンピュータに録音するための、リアンプおよびMIDIを提供する8イン/8アウト24ビット/96kHzオーディオ・インターフェースとして機能します。Helixは選択したモバイルデバイスに記録し、再生させることも可能です。

HELIX シート

シリアルNo.: _____